

▼3 小浜所長、先制スリーランホームラン
回



生涯青春
V2
優勝
小浜所長が最高殊勲選手賞

小浜所長、神ってた…
須賀川小浜所長が決勝戦でもここぞという場面で神った。3回にはランナーを

を2人置いた場面で先制の初ホームラン。初回のピンチの場面では1・2塁間のヒット性の打球にダイビングし好捕、チームのピンチを救った。

「野球部のミッションは達成、あとは応援団も含めた全員で優勝を目指そう」と選手を鼓舞し士気を高めた。そんな雰囲気を感じてか相手先発投手は緩急を巧みに使う技巧派。微妙な変化が打線を苦しめ、1順目は凡打の山を築いた。しかし、2順目。ランナーを2人置いた3回の攻撃。1番池田はレフトライナーに倒れたが2番小浜がレフトへ先制となる3点本塁打を打ちあげた。最高に盛り上がった。

ここまで来たら優勝したい。野球熱に更に火が付いた。決勝開始前には社長が選手を集めて円陣を組んだ。

「野球部のミッションは達成、あとは応援団も含めた全員で優勝を目指そう」と選手を鼓舞し士気を高めた。そんな雰囲気を感じてか相手先発投手は緩急を巧みに使う技巧派。微妙な変化が打線を苦しめ、1順目は凡打の山を築いた。しかし、2順目。ランナーを2人置いた3回の攻撃。1番池田はレフトライナーに倒れたが2番小浜がレフトへ先制となる3点本塁打を打ちあげた。最高に盛り上がった。

今年の最終戦。西村鋼業様との3度目の対戦は決勝戦となった。過去2回ともに初戦で対戦し勝利していたが、今年も打線爆発。準決勝が行われている反対側のグラウンドでは本塁打が多く飛出し打撃好調なのは事前に分かっていた。これまでの対戦チームの中でも一番インパクトが速く、前夜祭の時も要注意していた。



2年前より更に多い大応援団
全拠点から総勢30名を超す応援団が大声援が

選手を後押し。いつもは見えない？選手の
違った一面を見て頂けたに違いない

▼伊藤康 最速130km シンカー冴えわたる

酔エース
伊藤康
奪三振
池田



先発のエース伊藤が完封。初回の除く毎回の奪三振ショーで被安打2、奪三振10と完璧な投球を見せた。5回と7回は3者連続三振で相手打線を翻弄。伸びのあるストレートに変化球を織り交ぜ、本塁を踏ませなかった。

▲池田、4回にタイムリーヒット

▲前島、4回にタイムリーヒット

■試合結果 11月11日

西村鋼業様 対 根津鋼材

	1	2	3	4	5	6	7	計	H	E
西村鋼業様	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
根津鋼材	0	0	3	2	0	0	×	5	4	1



根津鋼材						
投手	伊藤					
捕手	前島					
本塁打	小浜(スリーラン)					
三塁打	伊藤康					
順	守位置	選手	所属	打	安	点
1	9	池田	浦安	3	1	1
2	4	小浜	須賀川	3	1	3
3	8	林	浦安	3	0	0
4	3	草野	須賀川	3	0	0
5	5	根津豪	浦安	3	0	0
6	7	川田	須賀川	3	0	0
7	1	伊藤康	八潮	3	1	0
8	2	前島	八潮	3	1	1
9	6	田邊	相模原	0	0	0
				24	4	5



「二フオームを新調し挑んだ今大会2年振り2度目の優勝を目指し、9月5日の初戦から5試合を戦った。新メンや復活メンバーが入り、層を増したチームの団結は2年前よりも強かったと思う。準々決勝は人手不足でまさかの棄権の危機に根津社長が参加、初スタメンとなり、大いに盛り上がった。8月に大会の組み合わせが決まり、本社で相談役にあうと「今年は優勝だな」と1週間で2回も言われた。これは勝たないといけないと思いを強くした。決勝が終わり応援に来て頂いた相談役に「おめでとう」と言われると安心した。これからも若い力とベテランの力の融合でチームを強く、楽しくしていきます。個人的には不満の残るシーズンでしたがチームが優勝出来たので言う事は何もありません。今年一年間、会社からのご支援、熱い応援本当にありがとうございました。」

(前島)



優勝した根津鋼材チームと応援団

東京鉄鋼販売業連合会、浦安鉄鋼団地協同組合、全国厚板シヤリング工業組合東京支部が共催する「第9回鉄鋼流通3団体合同野球大会」の準決勝・決勝戦が11日に浦安鉄鋼団地内「清水球場」で行われた。
優勝したのは根津鋼材。2年ぶりの2度目の栄冠となった。投打にバランスがとれ、要所をしつかり抑えながら手

合同野球大会

根津鋼材が2年ぶり2度目の優勝

【準決勝】
根津鋼材12―6 JFE商事
鉄鋼建材
ツコ内は所属企業

3日から始まった熱戦に幕を閉じた。
試合結果や個人賞受賞者
は次の通り。
（敬称略、カ業）
▽敢闘選手賞⇨久留準選手（JFE商事鉄鋼建材）
▽同―藤縄裕茂選手（エムエム

ヤンスを確実にモノにし、初戦から接戦を勝ち抜いた。当日は秋晴れのもと根津鋼材、西村鋼業、JFE商事鉄鋼建材、エムエム建材のうち決勝にコマを進めた根津鋼材と西村鋼業の一戦は中盤に根津鋼材の好打が炸裂して完勝。9月材



白熱した決勝戦

【決勝】
根津鋼材5―0 西村鋼業
【個人賞】
▽最高殊勲選手賞⇨小浜宗司選手（根津鋼材）
▽優秀選手⇨菅原聡朗選手（西村鋼業）
▽敢闘選手賞⇨久留準選手（JFE商事鉄鋼建材）
▽同―藤縄裕茂選手（エムエム

